

<今月の1枚 キッズテニス大会 スタッフの皆さんの素敵な笑顔>



第9回キッズテニス大会 開催

■大会156名、教室37名が市内外から参加

11月21日（土）、浦和駒場体育館において、第9回キッズテニス大会 in SAITAMAを開催しました。

市内だけではなく、今年度も戸田や熊谷など県内各地から、大会156名、教室37名と、多くの子ども達が参加し、熱戦を繰り広げました（写真は、主に低学年がそろった開会式。高学年は試合開始が遅いため受付時間不ずらしています）。



■大会形式と入賞者の紹介

この大会は、小学1・2年、3・4年、5・6年の男女別、計6つのカテゴリーに分かれ、3名程度の予選グループリーグを行い（1人2～3試合）、各グループ1位が決勝トーナメント、グループ2位はコンソレーショントーナメントを行います。

ゲームは9ポイント先取の1ゲーム方式です。

各カテゴリーの入賞者（1位トーナメント1～3位とコンソレーション1位）の表彰式後の姿を紹介します。



1・2年男子



3・4年女子



3・4年男子



5・6年女子



1・2年女子



5・6年男子

■大会趣旨と歴史について

この大会は、2007年に始まり、今年度で9回目を数えました。

浦スポでは、2004年から幼稚園や小学校低学年から、テニスに親しむ機会を増やすため、腕に負荷の少ないスポンジボールを用い、天候にかかわらず安定して行える体育館でキッズテニス教室を展開してきました。

教室だけではなく、試合の喜びや緊張感を味わうことも大切、でも、協会などが行う大会にはなかなか参加しづらいよね、という話から、教室開始から3年目に、県内で同様の教室を開催しているクラブ等と協力して実行委員会を設立し、大会を開催することとしました。

笹川スポーツ財団やtoto（スポーツくじ助成）の支援、さらには、テニスラケットメーカー各社や周辺のスポーツショップ・テニスショップの協賛等もいただきながら、クラブからも資金を出して継続してきました。

大会のサブテーマには、「マナーの向上」を掲げています。これは、日本テニス協会も協力して進められていたマナーキッズテニスの取り組み（現在は、NPO法人マナーキッズプロジェクトとして活動を展開されています）の趣旨に賛同して始めたものです。大会の中でも、相手を敬う心を持つこと、それを姿勢（態度）で現すために、試合前後の挨拶をしっかり行うことを約束ごととして取り組んでいます。

同時に、試合観戦に訪れる保護者や指導者にも、子どものスポーツを応援する際の考え方について、大会をとってお伝えしてきました。

■参加してくれた全員が主役

入賞者の写真紹介をさせていただきましたが、本当は全員の紹介をしたいところです。勝っても負けても出場した全員が主役です。勝って考えること、負けて得ることもいろいろあると思います。この経験を今後につなげてもらえればと思います。

この大会には、こどもたちの他にも多くの「参加者」がいます。大会の趣旨に賛同して集まってくださっている地域のテニス愛好家の方々です。このボランティアスタッフの力がなければ、大会は成り立ちません。

タイトル写真のおおよそ50名の皆さんが、この大会のすべての運営を担ってくださっています。

市内のテニスクラブやテニスコートで知り合った方々が声をかけあい、毎年この大会に集まってくださいますが、驚くべきはその女性率。おおよそ9割。

このネットワークは、クラブにとって本当に大切な財産です。そして、参加された皆さんの素敵な笑顔をみていると、参加してくださった方々の中でも、この大会に参加されることで何かを得ていただけているのではとちうれしくなります。

誌面上で恐縮ですが・・・皆さん、今後ともよろしくお願ひします。地域の子も達、テニス好きのこどもを、スポーツ好きの子どもを一緒に育てて、彼ら彼女らが大きくなったら一緒にテニスしましょう^^。

スポーツ好きな子どもを増やしたい！

■かけっこ教室！

駒場体育館の自主事業企画として、3週にわたり実施したかけっこ教室には、市内の小学生30名の参加がありました。

講師に、さいたま市出身の大橋祐二氏をお迎えし、浦スポの藍コーチもサポートして、早く走れるための体の動かし方などについて学びました。

大橋さんは、浦和高校在学時代に110mハードルで高校生初の13秒台高校記録をマークされ、社会人となってから出された自己ベスト13秒55は日本歴代4位に位置するトップアスリートです。



■バドミントン教室！

11月中には、元全日本チャンピオンの片山卓哉氏による中学生部活参加者を対象としたバドミントン教室も2週にわたり開催しました。近隣の中学校でバドミントン部に所属する1～2年生が参加しました。

片山さんは、越谷南高校から中央大学を経てNTT東日本で活躍された後、現在は理学療法士としてアスリートの競技力向上、スポーツ障害の防止、体づくりの指導なども行われており、右のような著書も出されています。

現在はさいたま市内にお住まいです。

バドミントンの技術のみならず、競技力向上にむけたよりよいからだづくりについてのアドバイスをいただき、受講者にとっては、部活の充実にもむけてよい機会となったようです。



元気にどこでもかけよう！

ノルディックウォーキング教室では、久々にさいたま市を飛び出し、秋の鎌倉・七福神巡りに行ってきました！

ポールを使うことで足への負担を減らすとともに、上腕をバランスよく鍛え、消費カロリーもアップするノルディックウォーク。全国各地で愛好家が増えているようです。

みなさんもぜひご参加ください！ 新規会員大募集中です。



2015年度、浦和スポーツクラブは、総合型地域スポーツクラブ活動助成を受け活動しています